

福島県オリジナル水稻新品種

「^{てん}天のつぶ」

～15年の歳月をかけ、穂いもちや倒伏に強い
良食味品種が完成しました～

台風通過後の
「天のつぶ」

台風通過後の
「コシヒカリ」

渡辺町の展示まで栽培した「天のつぶ」(平成23年8月)

記事のご紹介

2ページ

- 平成23年度いわき市農林業賞受賞者決定

3ページ

- がんばる農業者 あの人この人
小川町 白石 長利さん
- 農地Q&A
農地法第3条許可の権限移譲について

4ページ

- 今号の表紙から
- 農地流動化情報

5ページ

- 農業委員会のうごき
・平成24年農作業労働賃金標準額が決定しました
・農業委員(選任委員)が変わりました
・農業委員会委員選挙人名簿審査を実施
・6月は「農業者年金受給権者現況届」の提出月です

6ページ

- 地区だより(北部地区)
反転耕で農用地除染を目指す!
～反転耕の実演会開催～
- トピックス
「いわきの産地を巡るバスツアー!」開催

県は平成22年に「天のつぶ」を奨励品種に採用しました。右上の2枚の写真は、平成23年度に四倉町の拠点展示まで栽培した、台風通過後の「天のつぶ」と「コシヒカリ」の稲体を比較したものです。

「コシヒカリ」は倒伏してしまいましたが、「天のつぶ」は稈が太くしっかりしているため、倒伏は見られませんでした。また、食味・粒張りが良く、収量が多いという特徴もあり、今後ますます「天のつぶ」の普及拡大が期待されます。

皆さんもぜひ「天のつぶ」を栽培してみませんか。